

国際政治

126

冷戦の終焉と六〇年代性

日本国際政治学会編

序論 冷戦の終焉と六〇年代性	菅 英 輝
フルシチョフの極東政策再考	横 手 慎 二
池田＝ケネディ時代の日米安保体制	吉 次 公 介
冷戦の中の英米関係	橋 口 豊
朴正熙のナショナリズムと対米依存	奥 園 秀 樹
国連とイギリス帝国の消滅	半 澤 朝 彦
60年代ユーゴスラヴィアの内政と外交	定 形 衛
60年代における日本の東南アジア開発	鄭 敬 娥
グレーター・マレーシア 1961—1967	鈴 木 陽 一
「リベラル・アワー」再考	柄 谷 利 恵 子
60年代の旧東西ドイツ	井 関 正 久
<hr/>	
汪兆銘工作をめぐる日本海軍と日米関係	樋 口 秀 実

<書評論文>

英国学派とヘドリー・ブル	H・スガナミ
--------------	--------

<書 評>

黒沢文貴著 『大戦間期の日本陸軍』	戸 部 良一
ジョン・ジェラルド・ラギー著 『世界政治体を構築する——国際的制度化に関する考察——』	遠 藤 誠 治
鈴木基史著 『国際関係』	河 野 勝

2001年2月刊